

PRIDE 誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

「陸上競技は自分との戦い」 人生も...

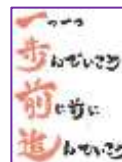


5月18日(水)にケーズデンキスタジアムで県東地区陸上競技大会が開催されます。大会に向け、これまで放課後、早朝に練習を重ねてきました。練習を見ていて感動したのが、休憩時間から練習への切り替えのときに、全員が走って移動していたことです。当たり前と思う人もいるかと思いますが、このことができることは、一流の選手になる第一歩であると感じています。一流の選手というのは、ただ強いとか速いとかいうのではなく、立ち振る舞いが一流、つまり人間として一流ということです。

さて、どの競技もそうなのですが、特に陸上競技は、自分との戦いになります。隣のレーンの人と比較しても何の意味もありません。大切なのは、自分のこれまでの記録を上回ることです。100mを11.8秒で走れる人と13.0秒で走る人が競っても仕方ありません。13.0秒で走る人が、どう頑張っても12秒を切るなんてできませんよね。でも、13.0秒で走る人が、12秒台で走ることは可能です。そして、自己記録を更新し、12秒台で走ることができれば、大成功というわけです。



上記のことは、人生にも言えることです。自分を他人と比較しても何の意味もありません。私もそうでしたが、思春期の頃というのは、どうしても他人と比較して、「自分は劣っている」と卑下してしまいがちです。しかし、先ほどの100m走の話と同じで、一人一人得意なことも苦手なことも違うのですから、比べても意味がないのです。そして、自分から見て、「あの人はすごい」と思っている人も、案外同じような悩みを持っているものです。大切なのは、自分自身を少しずつ成長させていくということです。自分は何が得意で、何が苦手なことなのかを把握し、得意なことを伸ばし、苦手なことを克服していく。そして、人生の自己記録を目指し、



一歩一歩前進していくしかないのです。

県東地区陸上競技大会に出場する選手諸君には、自分との戦いに勝ち、自己新記録を達成できることを願っています。また、自己新記録を達成できなくとも、全力で競技に臨むことにより、自分自身を成長させ、一歩前進できることを願っています。銚田北中学校のプライドをもって自分自身と戦ってくる選手のために、全校一丸となってエールを送ろうではありませんか!

